

景観で「絆」を育み、景観で「選ばれる」まちをつくる

## ～ 南知多町景観計画策定委員会（第4回）通信 ～

日時 令和6年2月13日(火) 13:00～15:30

場所 南知多町役場

本町では景観法に基づく南知多町景観計画の策定に向けた検討を進めており、有識者・町民・関係者を含めた南知多町景観計画策定委員会を設置しています。これまで策定委員会を3回開催し、景観施策について議論を積み重ねてきました。

最終回となる第4回南知多町景観計画策定委員会では、計画の完成に向けた最終調整のための意見交換を行いました。

### 第4回の概要

- パブリックコメントへの対応について確認を行いました。
- 南知多町景観計画(案)について意見交換をしました。
- (仮称)デザインアイデア集について報告と意見交換を行いました。

#### 議題

- (1)パブリックコメント結果と、南知多町景観計画への反映について
- (2)「(仮称)デザインアイデア集」について



当日の様子



計画案の表紙案



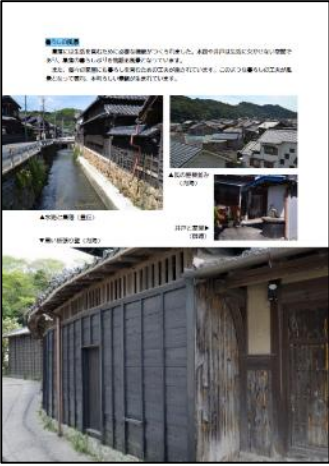
(仮称)デザインアイデア集の表紙案

### (仮称)デザインアイデア集について

南知多町の「うみ・しま・まち」の眺望を楽しみ・味わうための建物や敷地のデザインアイデアを提供するミニ冊子を作成しています。本冊子では町民・町外在住者(移住希望者等)に向けて南知多の美しい眺望を紹介し、眺望を取り入れたデザイン手法をイラストを踏まえて解説することで、魅力的な店舗や施設等の誘導を図ります。本冊子については4月を目途に公開予定です。

**前回からの変更点①**  
 住民の皆さんに読んでもらえるよう、町内の美しい景観の写真を多数掲載し、親しみのあるデザインにしています。

**前回からの変更点②**  
 地域の特性を活かした建築物等の規制・誘導の方策として、景観デザイン方策のアイデアを掲載しています。



△見やすいデザインが特徴です。(変更点①)

**景観デザインの考え方(8) パノラマ景観を眺める場のデザイン**

**アイデア** 風景を気持ちよく眺められる場所

**南知多町の景観の特徴**  
 南知多町ではさまざまな海の「見え方」を楽しむ。パノラマもその一つである。

**デザインに取り入れたいポイント**  
 パノラマ景観を見晴らす開口部を設け、居心地をよくする。開口部を大きくし、感動を高める。

○風景を楽しむためのファニチャーを設ける  
 パノラマ景観が楽しめる方向に開口部を設ける。店舗など人が多く集まる際はパノラマ景観観に配慮する。

○上質な時間を演出する  
 開口部の面積を大きくすることで、眺望の感動と満足度を高める。

△景観デザイン方策のアイデアを多数紹介しています。(変更点②)

景観形成の方針(再掲)	景観デザインの考え方	景観デザイン方策のアイデア
南知多町において大切な景観、誇れる景観、将来にわたって継承する景観を示したもの	景観形成の方針を実現するためにふさわしい建築物や工作物等のデザインについて示したもの	景観デザインのアイデアを具体的に示したもの
1 海の景観、山の景観を守り育む	(1)海への視点場・眺望点の整備	海への眺め
2 丘陵の緑と調和した景観を守り育む	(2)主要な視点場から見た森林の形質変更を最小限にするデザイン	緑に埋もれる
	(3)緑や地形と調和する建物のデザイン	見晴らしの眺望

△南知多町に合った景観デザインの考え方を掲載しています。(変更点②)

**○小高い場所に見晴らすための開口部を設ける**

敷地内に高低差がある場合には、高い位置に窓を設ける。屋上には腰を下ろして眺望を楽しめるベンチを置く。

△アイデアのイラストを掲載しています(変更点②)

**前回からの変更点③**  
 各地域の景観上の特徴をコラムとして掲載しています。

▷写真付きでまちなみコラムとして掲載しています。(変更点③)

**内海**

**まちなみコラム**

**海田につながら石積みの高壁**  
 海田地区の北側に外壁(石の下層部)を高く積み上げた高壁が、景観上の特徴として知られている。高壁の上部には土蔵や土間に埋もれた土蔵などがある。高壁の上部には土蔵や土間に埋もれた土蔵などがある。

**長屋門の趣を残す家屋**  
 大正時代や昭和初期に建てられた家屋が多く、長屋門や土蔵などの特徴で、海田地区の景観を形成している。長屋門の趣を残す家屋を、景観上の特徴として紹介している。

**静寂(よいい家)**  
 静寂の家の外観の特徴は「静寂(よいい家)」という点になっている。静寂の家の外観は、外観に合った土蔵や土間に埋もれた土蔵などがある。静寂の家の外観は、外観に合った土蔵や土間に埋もれた土蔵などがある。

委員から出された主な意見

本町は島であることからアプローチが限定されていることや、海と島があることが特徴。

南知多町景観計画がどのようなものかわかる一言、キャッチフレーズがほしい。

今後は、景観などの環境や水産を目的にした来訪も観光協会として周知したい。

景観を破壊されないように見守るだけではなく、手を入れることが必要であると感じた。

地元の人しか知らない景色を観光に結び付ける形で発信していきたい。

町の魅力が掲載された素敵な計画である。今後どのように広報、周知していくかが課題である

地元の人にとって見やすい計画の冊子になっている。

景観特派員は中学生も募集したらよいと感じた。中学校を通して募集をかけてみてはどうか。